

化學研究所
學術報告
第一號

昭和四年十一月

京都帝國大學
化學研究所

目 次

1. 堀場信吉、石井新次郎：— 光に依る膠質の生成（第二報） 銅膠質の生成
2. 喜多源逸、菅野源一郎：— 醋酸纖維素皮膜製造及び紡絲試験（第一報）
醋酸纖維素の品質と皮膜の強度との關係
3. 喜多源逸、菅野源一郎：— 同上（第二報）
皮膜製造條件と皮膜の性質との關係
4. 喜多源逸、植松達己、増田周三：— 同上（第三報）
醋酸纖維素紡絲に就て
5. 喜多源逸、増田周三：— 同上（第四報）
醋酸纖維素溶液の粘度、伸縮能力及び絲の強度に関する觀察
6. 喜多源逸、増田周三、松山紀陽作：— 同上（第五報）
7. 喜多源逸、岩崎振一郎、増田周三、松山紀陽作：—
ブイスコースに関する研究（第22報）
ブイスコースの比粘度に就て (I) ブイスコース熟成中粘度變化の型式
8. 中島 正：— 同上 (II) ブイスコースの流出速度
9. 喜多源逸、岩崎振一郎、増田周三：— 同上（第23報）
ブイスコース液熟成中の表面張力に就て
10. 木村和三郎：— 蝟油不飽和脂肪酸の成分に就て
11. 木村和三郎：— リノレン酸の臭素誘導體に就て
12. 木村和三郎：— 油脂の新恒數ロダゲン價及び其應用（第一報）
遊離ロダゲン溶液の調製及びロダゲン價の測定
13. 木村和三郎：— 同上（第二報）
不飽和脂肪酸に對する遊離ロダゲンの撰擇的作用
14. 木村和三郎：— 同上（第三報）
遊離ロダゲンによる油脂の一新分析法
15. 志方益三：— ボーラグラフに依る銅錯鹽の研究（第一報）
16. 志方益三、木田裕次：— 同上（第二報）
17. 庄司謙次郎：— ボーラグラフに依る醗酵生成物の研究（第一報）
18. 志方益三、庄司謙次郎：— 同上（第二報） ケトン酸に就て

-
19. 渡邊俊雄、仲田 旭 :— 鉛亞鉛の含銀硫化混合鑛の濕式冶金法に關する研究(一)
20. 渡邊俊雄、仲田 旭 :— 同 上 (二)
21. 渡邊俊雄、仲田 旭 :— 同 上 (三)
22. 渡邊俊雄、仲田 旭 :— 同 上 (四)
23. 渡邊俊雄、仲田 旭 :— 鉛亞鉛硫化混合鑛の濕式冶金法に於ける蒼鉛の動作(一)
24. 渡邊俊雄、仲田 旭 :— 同 上 (二)
25. SHINKICHI HORIBA & HIDEO BABA :— The Determination of the Vapour Pressures of Sodium and Potassium Chlorides.
26. SHINKICHI HORIBA & TAIKEI RI :— On the Decomposition of Carbon Monoxide in the Presence of Reduced Nickel. (Preliminary Report)
27. WASABURO KIMURA :— Über die ungesättigten Fettsäuren des Chrysalidenöles.
28. WASABURO KIMURA :— Über die Bromderivate der Linolensäure.
29. KINSUKE KONDO & TSUNETOMO HAYASHI :— The Influence of Salts on the Iso-electric Behavior of the Protein.
30. KINSUKE KONDO & TSUNETOMO HAYASHI :— On the Iso-electric Point of Glutenin.
31. KAORU MATSUMIYA & MINORU NAKAI :— On organic Compounds of Arsenic. Pt. IV. Reaction between the Grignard Reagent and Arsenic Trisulphide.
32. KAORU MATSUMIYA & HISAKAZU NAKATA :— Organic Compounds of Arsenic. Pt. V. The Electrolytic Reduction of 3-nitro-4-hydroxyphenylarsinic acid.
33. KAORU MATSUMIYA & HISAKAZU NAKATA :— Organic Compounds of Arsenic. Pt. VI. Electrolytic Reduction of Some Aryl-Arsinic Acids.
34. IKUTARO SAWAI & OTOKICHI MORISAWA :— Über die Zustandsänderung des auf Glas niedergelegten Silberspiegels bei der Erhitzung.
35. IKUTARO SAWAI & OTOKICHI MORISAWA :— Über die Schrumpfung des Glasfadens beim Erhitzen.
36. IKUTARO SAWAI & YOSHIHIRO UEDA :— Über die Schrumpfung des Glasfadens beim Erhitzen.
37. TOSHIMICHI YAMAMOTO :— On the arrangements of the Micro-crystals in Zinc and Cadmium obtained by Sublimation.

抄 録

1. 堀場信吉、李泰圭：— 還元ニッケルの存在に於ける一酸化炭素の分解（豫報）
2. 堀場信吉、馬場日出雄：— 鹽化ナトリウム並に鹽化カリウム蒸氣壓測定
3. 堀場信吉、石井新次郎：— 光に依る膠質の生成（第二報） 銅膠質の生成
4. 喜多源逸、菅野源一郎：— 醋酸纖維素皮膜製造及び紡絲試験（第一報）
醋酸纖維素の品質と皮膜の強度との關係
5. 喜多源逸、菅野源一郎：— 同 上（第二報）
皮膜製造條件と皮膜の性質との關係
6. 喜多源逸、植松達巳、増田周三：— 同 上（第三報）
醋酸纖維素紡糸に就て
7. 喜多源逸、増田周三：— 同 上（第四報）
醋酸纖維素溶液の粘度、伸糸能力、及び糸の強度に関する觀察
8. 喜多源逸、増田周三、松山紀陽作：— 同 上（第五報）
9. 喜多源逸、岩崎振一郎、増田周三、松山紀陽作：—
ブドウ糖に関する研究（第22報）
(I) ブドウ糖熟成中粘度變化の型式
10. 中島 正：— 同 上 (II) ブドウ糖の流出速度
11. 喜多源逸：— 人絹強度増進の一方法
12. 木村和三郎：— 蠶油不飽和脂肪酸の成分に就て
13. 木村和三郎：— リノレン酸の臭素誘導體に就て
14. 木村和三郎：— 油脂の新恒數ロダゲン價及其應用（第一報）
遊離ロダゲン溶液の調製及ロダゲン價の測定
15. 木村和三郎：— 同 上（第二報）
不飽和脂肪酸に對する遊離ロダゲンの撰擇的作用
16. 木村和三郎：— エルシン酸分離の一新方法

-
17. 松宮 馨 :— 砒素の有機化合物に就いて (第一報)
グリニヤール試薬と三鹽化砒素の反應
 18. 松宮 馨 :— アンチモンの有機化合物に就いて (第一報)
 α 、ナフチル、マグネシウムプロマイドとアンチモンの無機化合物
との反應、トリ、 α 、ナフチルスチピン及其誘導體
 19. 松宮馨、中井實 :— 砒素の有機化合物に就て (第二報)
グリニヤール試薬と三酸化砒素の反應
 20. 松宮 馨 :— 同 上 (第三報)
三鹽化砒素と水銀の α 、ナフチル化合物との反應
 21. 松宮 馨 :— 同 上 (第四報)
グリニヤール試薬と三酸化砒素の反應
 22. 松宮馨、中田久和 :— 同 上 (第五報)
三ニトロ四オキシフェニルアルシン酸の電解還元
 23. 澤井郁太郎、森澤乙吉 :— 硝子上に附着せる銀鏡の加熱に因る状態變化に就て
 24. 澤井郁太郎、上田義博 :— 硝子糸の加熱に依る收縮に就て
 25. 志方益三 :— ボーラログラフに依る銅錯鹽の研究 (第一報)
 26. 志方益三、木田裕次 :— 同 上 (第二報)
 27. 庄司謙次郎 :— ボーラログラフに依る醗酵生成物の研究 (第一報)
 28. 志方益三、庄司謙次郎 :— 同 上 (第二報)
ケトン酸に就て
 29. 渡邊俊雄、小川健一 :— 電氣分銅電解溶液清淨劑としての活性炭素
 30. 山本利道 :— 昇華に因つて得たる亞鉛及びカドミウム内に於ける微結晶配列に
就て

目次に掲載せる報文のうち別刷部数の都合により
本冊中に收編し得ざりしものあり。

油脂の新恒數ロタン價及其應用 (第一、二報)

工 學 士 木 村 和 三 郎

工業化學雜誌 第三七五號

昭和四年五月五日 發行別刷

工 業 化 學 會

昭和四年十一月二十五日印刷

昭和四年十一月三十日發行

化學研究所

京都帝國大學內

印刷者 合資
會社 ぐるりあそさえて

代表者 伊藤長藏

神戸市前町十八番

Scientific Reports
of
The Institute for Chemical Research.

No. 1.

(November, 1929)

The Institute for Chemical Research,
(Takatsuki)
Kyoto Imperial University.